

◆ 第4回沼津市中心市街地まちづくり戦略会議

<p>会議次第</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶 3 沼津市中心市街地まちづくり戦略について <ol style="list-style-type: none"> (1) 中心市街地まちづくり戦略(素案)について (2) 今後のスケジュール 4 意見交換 5 閉会 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>委員の主な意見</p>	<p>【中心市街地まちづくり戦略 第4章】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 戦略Ⅰにかかげられているオープンリングの形成については、今後行われる土地区画整理事業と密接に関連することから、本戦略と土地区画整理事業の連携を図ることが重要である。 ● ハザードマップによると、洪水時に駅まち環状の一部が浸水する想定となっているため、防災への配慮が必要である。 ● 戦略Ⅱにおいて、貨物駅跡地は中期の早い段階に活用できるため、すぐに検討が必要である。駅周辺に公園が少ないことや先月の大型台風を踏まえ、防災公園という提案は適していると考える。 ● 戦略Ⅲにおいて、まちなか居住を促進するために住宅供給は必要であるが、マンションが立地する際には駐車場が附随し、1階が駐車場の出入口とエントランスとなるため、連続したまちなみを形成する上で留意する必要がある。 ● 空間が再編される(都)沼津駅沼津港線の沿道や駅前広場の周辺敷地は極めて重要な民地であり、そこに対して機能誘導や景観誘導を行う際のイメージ図が示せるとよい。道路断面において歩行者空間が広がるとともに民地側がセットバックし、その空間をテラスやカフェなどとして有効活用していることが、市民や事業者とイメージを共有できるとまちなみ誘導が図られると考える。 ● 戦略Ⅳにおいて、中心市街地と周辺資源との連携は、より広域な視点で検討してもよいと思う。 <p>【中心市街地まちづくり戦略 第5章】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民参画については、再編した公共空間を有効に活用するために、エリアマネジメント組織や事業者の新しい取組をサポートする組織等、地域を管理・運営する担い手を育成することも同時に進めることが重要である。